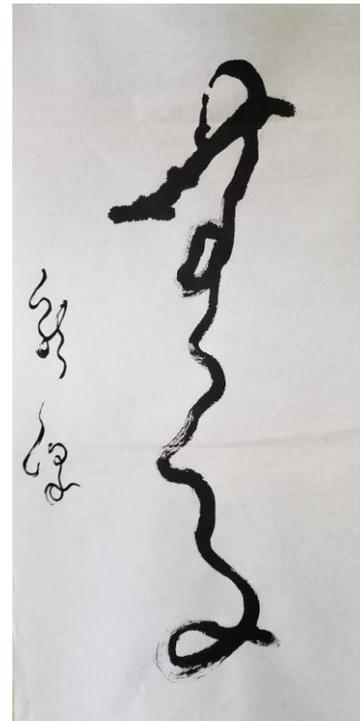


禅の墨蹟(恭真書)



無事…コロナ禍でも無事でありますように。

新年役員会中止

▼一月十七日予定していましたが役員会は新型コロナウイルスの影響により中止といたしました。▼新役員となりました東本町・佐久間敏昭氏、表町・三宅俊實氏、追分・桐生和芳氏、八田・井上伸一氏、星の宮・宮村俊市氏には後日委嘱状が渡されます。▼令和三年度のお寺の行事につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が日々大きくなる現状を鑑み、春の大会若会も秋の落語も中止といたします。▼お檀家の皆様のご法事に關しましては徹底した感染対策の上、お参りの方はマスク着用にて行っています。

梅花流詠讃歌とは...

人は幸せを願って生きています。しかし、誰しも悩み、悲しみ、苦しみを体験しない人はいないでしょう。そうした時に心を支えてくれるのが梅花流詠讃歌(御詠歌)です。その歌詞には私たちが安らぎの世界へと導いてくださる仏さまの教えや想いが示されています。

お唱えを聴いて

見ましよう。



スマートフォンでQRコードを読み取るとお唱えを聴くことができます。

寂光塔(永代供養墓)

平成十四年(2002)に建立し、現在七十七名の申し込みがあります。諸費用等はパンフレットを用意しておりますのでご相談ください。位牌堂にも納骨された方のお位牌を祀っており、春秋彼岸、お盆等は位牌堂入り自由にお参りができます。お墓継承でお悩みの方、お墓を建てても後々守ってくださる人がいなくなる、夫婦二人暮らし、独身、先祖代々の墓終いをしたい等々。お檀家様以外でも、他宗で葬儀を行った方でも構いません。生前申し込みの場合は葬儀は当寺で執行し、仏縁を深めて納骨供養いたします。



仏事の知識

棺の釘打ち

故人とのお別れの際生花を棺に手向けた後、蓋を閉じて出棺ですが、その蓋を釘で打ち開かないように固定する儀式を「釘打ちの儀」と言います。喪主から故人との関係の深い順に一人二回ずつ釘を打ちます。昔は土葬であったため野辺送りや棺を墓地まで人の手で運ぶことが通例であった。道中に蓋が外れないように釘で打ち付け固定しました。最近では蓋が簡単に外れることはなく、儀式として行っています。また、布張りの棺もあり釘打ちの必要のないものとなっています。ご遺体は茶毘に付すことになっていて現代では死者を封印すること事態が必要なくなっています。釘を打つこと、何とも切ないことですが、あの打つ音は亡き人に「あなたとはこれが最後ですよ」と言うお別れの合図ではないでしょうか。

仏事の知識  
↓QRコード



曹洞宗とSDGs(イステイジーズ 持続可能な開発目標) 曹洞宗では人権・平和・環境のスローガンとともにSDGsに取り組んでいます。

